総会報告　*連盟公式Webサイト始動！各支部への情報伝達仕組み改善*

9月9日午後5時より、水戸京成ホテルで役員総会を開催した。
定例の議題に加え、残念ながら部員数減により東北支部の活動休止が報告され、東北支部が務める予定であった54回以降の大会主管支部を1回ずつ繰り上げることとなった。役員については、常任理事の神代真琴が退任し、新たにドコモ支部・遠藤英輔が就任した。
昨年度から議論していた学生大会への広告掲載については広告の具体案を挙げて決議し、連盟公式サイトの正式立ち上げ、各支部への情報伝達仕組み改善について議論し、可決・承認された。

島田会長

頼政事務局長

【議事内容】
(1)平成28年度連盟活動報告
(2)平成28年度会計報告、会計監査報告
(3)平成29年度役員の選出について
　退任　常任理事(総務):神代真琴
　新任　常任理事(総務):遠藤英輔
(4)次年度計画及び第52回全国大会実施概要・大会予算案について
(5)平成29年度予算案および年会費について
(6)東北支部の活動休止と 第53回以降の大会主管について
　主管:九州支部
　時期:平成30年秋(予定)　　場所:熊本県または鹿児島県(予定)
　以後の予定:54回東京、55回北陸、56回中央
(7)連盟公式Webサイトについて
(8)大学生大会プログラムへの広告掲載について
(9)各支部への情報伝達仕組みの改善について
(10)各支部の活動状況報告、名誉顧問、顧問、相談役の近況
　　訃報　橋本真澄 名誉顧問(8月13日没　享年98歳)

活動状況

昇段・昇格
◆七段:冨澤(東京)・本橋(東京)・田中(東京)　◆五段:五十川(中央)　◆四段:加本(中央)
◆参段:砂月(九州)　◆弐段:蓑手(ドコモ)　◆初段:石井(ドコモ)

支部活動

【中央支部】　三多摩勤労者大会で佐藤が2位。三多摩リーグ戦参加。東京三地連の例会・個人選手権参加。夏期合宿の開催、東京支部と合同で中塚範士研修会、月例会を開催。

【東京支部】　三多摩勤労者大会で団体優勝、個人入賞多数。全日本実業団大会で団体男子9位、女子4位、個人女子で石川が入賞。東京都実業団で団体戦2位、個人戦で河合が入賞。中塚範士研修会、月例会の開催。

【関東支部】　千葉県実業団大会、千葉県勤労者大会への参加。春季大会＆合宿、夏季強化合宿in茨城を開催。

【信越支部】　会員は各地域の弓道会に所属して、それぞれ大会に参加しているが、支部の活動としては、NTTグループ大会が唯一の活動の場となっている。家族会員の西村洋輝は、各大会で上位入賞し、国体の新潟代表に選出。

【東海支部】　三重県連新年射会で畑出が称号者の部4位、湖西市市長杯弓道大会で山本が個人2位。その他各地域の弓道大会に参加、地域講習会受講等。支部の全国大会予選会兼射会を開催。

【北陸支部】　OBメンバだけでの参加が続いていたが、H25に現役メンバ1名復帰、H29に新規1名登録。普段は個人活動が中心。白山郷公園武道館鶴来弓道場開設記念大会で山本輝子が女子個人優勝他、団体・個人入賞多数。

【関西支部】　大阪市長杯大会で吉田が女子個人入賞。その他各地域の大会に参加。全日本男子弓道選手権大会に野中が大阪府代表で出場決定。中央研修会、地域講習会受講など。

【四国支部】　愛媛県、徳島県の地域大会・講習会に参加。村上敏行が西条市民総合体育大会・西条大会で一般男子優勝、四国弓道選手権で準優勝。村上範子が西条大会で一般女子2位。天野・福本が地連審査で審査員を務める。

【九州支部】　全国大会メンバー選抜を兼ねた九州大会を開催。熊本地区については、合宿や月例会を開催。地域の大会等へも積極的に参加。熊本県弓道選手権で島田が四・五段の部優勝、砂月が参段以下の部2位など。NTT西日本グループ九州TVニュースで弓道部を紹介いただき、九州各県に弓道部の存在と活動をアピールできた。

【東北支部】　退職、高齢化、業務繁忙等による会員の減少により支部としての活動は今後も難しく、活動を休止。

【北海道支部】　現役世代が少なく、活動続行のためには、更に会員の募集と、OBの継続参加が必要。札幌地区職域対抗弓道大会にNTT北海道として参加、団体3位、個人1部で小田が2位。他、地域の各種大会・講習会に参加。

【ドコモ支部】　新入部員4名発掘。関東支部と合同で合宿。個人活動では、全日本実業団で木俣が個人2位、横須賀市市民大会で神代が個人3位入賞など。支部長を神代から山形に交代。

【データ支部】　会員拡大に向けた社内活動に取り組み、小笠原流・流鏑馬体験会イベントを実施。東京支部と合同で月1回の月例射会と随時の研修会、合宿に参加。その他、地域大会への参加では、東京都市町村総合体育大会で池田が団体優勝、東京都支部対抗弓道大会で中島・渥美が団体4位。金子哲が千代田区 区政功労者表彰。

【JIP支部】　月1回の月例練習会、射会を開催。全日本実業団大会に13名参加、NTTデータグループ流鏑馬体験会への参加など。

大会活動
第52回NTTグループ全国弓道大会の開催にあたり、(公財)全日本弓道連盟様、茨城県弓道連盟様からご後援を頂いた。

NTTグループ 弓道

第六十六号

平成29年10月1日発行
東京都調布市入間町1-44
NTTグループ弓道連盟
発行責任者　頼政秀幸
編集責任者　金子哲也
撮影　窪田圭司

次回大会:
第53回NTTグループ全国弓道大会
主　管: 九州支部
開催日: 平成30年秋(予定)
開催地: 熊本県または鹿児島県(予定)

◆◇第52回NTTグループ全国弓道大会、茨城県武道館弓道場にて開催◇◆

第52回NTTグループ全国弓道大会が9月9－10日の2日間にわたり、茨城県武道館弓道場で開催された。

9日に行われた懇親会は、關副会長の挨拶、開催地の松本茨城支店長の激励のお言葉の後、黒田副会長の乾杯のご発声で開宴した。

一年ぶりの再会で会場内が賑わう中、恒例の決意表明が始まり、各支部の個性あふれる宣言や結婚報告など途切れることのない笑いが続き時間を忘れ、親睦を深めた。

翌10日の大会は、射手・堀部雅志(教士六段)、介添・樋口久雄(錬士六段)、廣木栄則(五段)による主管支部代表の矢渡の後、大会が幕を開けた。

団体戦は、初戦から同中競射となる波乱の幕開けとなり、準決勝にはドコモ支部、関東支部、東京支部、データ支部の過去優勝経験支部が出揃った。関東支部はドコモ支部に貫録を見せ決勝に進出。東京支部対データ支部の対戦は高的中支部同士での同中競射となり、一本競射3回目で決着する、まさに記憶に残る熱戦となった。結果、データ支部がここ直近2大会で敗北を重ねていた東京支部の三連覇の夢を砕いた。

決勝は主管支部優勝を狙う関東支部に対し、好調を維持したデータ支部が勝利し、3年ぶりに優勝盃を獲得した。

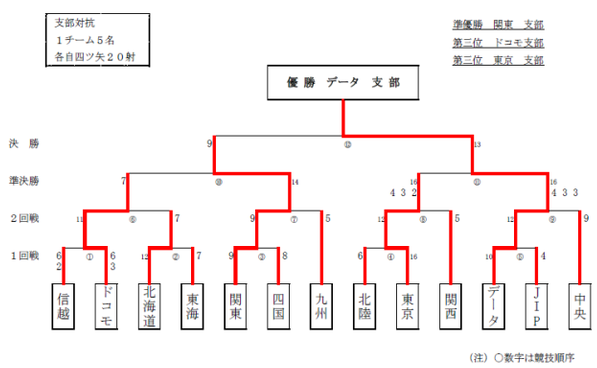
個人戦では、一部・頼政秀幸選手(データ)、二部・河合亮一選手(東京)、三部・細川修英選手(信越)が優勝、細川選手は唯一の8射皆中者であった。個人総合優勝は、その3名による2度の射詰の結果、頼政秀幸選手が獲得し、一部からの初の個人総合優勝者となった。

なお、關副会長のお取り計らいにより、NTT東日本営業推進本部発行の『NTT東日本BUSINESS』誌の取材をうけ、本大会の様子や本連盟の活動について後日誌面上にて紹介される予定。

大会結果　団体戦

【1回戦】 昨年に引き続き、13支部によるトーナメント戦が、九州・関西・中央の3支部のシードで開始された。
＜第1試合:信越6-2-ドコモ6-3＞大将勝負となり、信越支部の的中に対してドコモ支部が失中し、初戦から同中競射となる波乱の幕開けとなったが、ドコモ支部が制した。
＜第2試合:北海道12-東海7＞北海道支部は、東京支部とドコモ支部から1名ずつの助っ人を入れて参戦し、出だしでつまずいた東海支部に対し、安定した的中で勝利した。
＜第3試合:関東9-四国8＞前年度主管の四国支部が、本年度主管の関東支部に対して、4射目で1番から3番まで3連中と追い上げたが、あと一歩届かず惜敗した。
＜第4試合:北陸6-東京16＞3連覇を目指す東京支部が、実力を発揮し北陸支部に圧勝した。
＜第5試合:データ10-JIP4＞データ支部が、着実に差を広げ快勝した。
【2回戦】
＜第1試合:ドコモ11-北海道7＞久々の入賞のかかるドコモ支部が3射目で全中し、北海道支部を引き離し、勝利した。
＜第2試合:関東9-九州5＞1射目から着実に差を広げた関東支部が、快勝した。
＜第3試合:東京12-関西5＞東京支部は、安定した試合運びで、前半的中が伸びなかった関西支部に勝利した。
＜第4試合:データ12-中央9＞中央支部は4射目に4中と追い上げるも、前半から的中を重ねたデータ支部が勝利した。
【準決勝】
＜第1試合:ドコモ7-関東14＞本大会に先立ち、合同で合宿を張った支部同士の戦いを関東支部が制し、決勝に駒を進めた。
＜第2試合:東京16-4-3-2-データ16-4-3-3＞前半一手が終わったところで2本の差を付けた東京支部であったが、データ支部が後半一手を詰めて10連中、同中競射に突入する。高いレベルの戦いに会場内が静まりかえり勝負の行く末を注目する中、両者譲らず計3回の1本競射を実施。最後は大将勝負の末、東京支部に対してデータ支部が辛勝した。
【決勝】
＜関東9-データ13＞
前半一手は団体戦通算5回の優勝を誇る関東支部優勢で折り返したものの、ほぼ互角の勝負となり、東京vsデータ戦につづく接戦の雰囲気が会場内に漂う中、3射目に4連抜きとなった関東支部に対して5射4中で逆転したデータ支部が盛り返し、通算4回目の優勝を飾った。

◇◇◇ 団 体 戦 ト ー ナ メ ン ト ◇◇◇



団体戦　優勝　データ支部

団体戦　準優勝　関東支部

団体戦　第三位　ドコモ支部

団体戦　第三位　東京支部

大会結果　個人戦

【一部】参段以下 出場者32名

優　勝	頼政 秀幸(データ)	6中	○×○×○○○○	
準優勝	牧野 雄一(東海)	5中	×○○×○○×○	
第三位	阿部 敏之(JIP)	4中	××○××○○○	遠近
第四位	樋泉 清人(東京)	4中	××××○○○○	遠近
第五位	榎本 周久(関西)	4中	×○×○××○○	遠近

【二部】四、五段 出場者36名

優　勝	河合 亮一(東京)	6中	○×○○○○×○	
準優勝	大井 朋子(東京)	5中	○×○○××○○	遠近
第三位	上田 雅巳(東海)	5中	○×○○○××○	遠近
第四位	林 圭(データ)	5中	×○×○○○×○	遠近
第五位	武田 健太郎(データ)	5中	○×○○○×○×	遠近

【三部】称号者 出場者35名

優　勝	細川 修英(信越)	8中	○○○○ ○○○○	
準優勝	藤原 有紀恵(東京)	6中	○○○×○×○○	遠近
第三位	本橋 秀夫(東京)	6中	×○○○○○○×	遠近
第四位	金子 哲也(データ)	6中	×○○○×○○○	遠近
第五位	畑出 英巳(東海)	6中	×○○○○×○○	遠近

【総合優勝決定戦】

一部	頼政 秀幸(データ)	○○	総合優勝
二部	河合 亮一(東京)	×	
三部	細川 修英(信越)	○×	

特別賞

【優秀選手賞】

林 圭(データ)

【敢闘選手賞】

加本 務(中央)	杉山 勝美(東京)
大波 正(関東)	西村 洋輝(信越)
畑出 英巳(東海)	寺西 智美(北陸)
榎本 周久(関西)	三宅 涼代(四国)
砂月 五十喜(九州)	中島 兵威(北海道)
神代 真琴(ドコモ)	菱本 信二(JIP)

【女子優秀賞】

藤原 有紀恵(東京)

【名越賞】

頼政 秀幸(データ)

御礼

本大会開催にあたり、地元NTT東日本茨城支店様より賞品のご提供をいただきました
ご厚情に感謝申し上げます

【茨城支店長賞】

大室 仲(中央)
藤原 真(東京)
堀部 雅志(関東)

個人戦　入賞者

大会写真集

矢渡(関東支部　堀部選手)

島田会長挨拶

選手宣誓(樋泉選手)

關副会長挨拶

松本茨城支店長

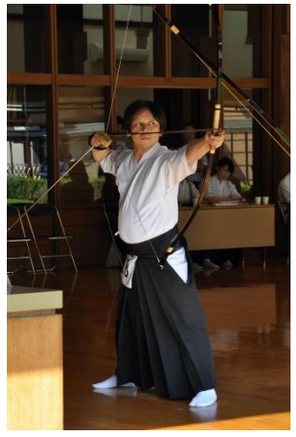
出場選手

乾杯(黒田副会長)

大会役員・来賓

団体戦 優勝(データ支部)

団体戦 準優勝(関東支部)



(写真左)
個人一部 優勝
個人総合優勝
頼政選手(データ支部)

(写真中央)
個人二部 優勝
河合選手(東京支部)

(写真右)
個人三部 優勝
細川選手(信越支部)